



特別企画 令和3年度 公開講座  
新型コロナウイルス感染症  
パンデミックの行方

～医療従事者の奮闘の先にあるもの～

新型コロナウイルス感染症に対してワクチン接種も開始され、感染者数も徐々に減少傾向がみえてきましたが、未だ収束の見通しが立たない状況にあります。医療の最前線では患者の命を守るため、医療従事者がこの感染症との闘いを続けています。この講座では、様々な立場で感染症に立ち向かっている専門家の皆さまに、感染症対策の課題や今後の方向について語り合ってもらいます。

令和3年 **4月24日** **土** 14:00～15:45 開催

開会ご挨拶

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター長

●石原 美和 ISHIHARA MIWA

パネルディスカッション

パンデミックの行方と感染症対策の展望

<パネリスト>

新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部 副本部長/神奈川県健康医療局長 (医師)

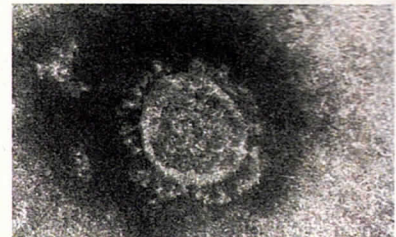
●前田 光哉 MAEDA MITSUYA

神奈川コロナクラスター対策チームメンバー/センター専任教員 (感染管理認定看護師)

●黒木 利恵 KUROKI RIE

政府 新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員/川崎市健康安全研究所長 (医師)

●岡部 信彦 OKABE NOBUHIKO



©国立感染症研究所

- 募集人員 450名程度 (応募者多数によりご参加できない場合にのみ連絡いたします)
- 申込方法 お申し込みは当センターホームページから  
詳しくは、当センターホームページをご覧ください  
✉ kensyu-14.j@kuhs.ac.jp <https://www.kuhs.ac.jp/jissen/>
- 申込期間 令和3年4月1日(木)～年4月23日(金)
- 問合せ先 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター  
公開講座担当  
☎ 045-366-5800 📠 045-366-5803



# パネリスト紹介

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター長

## 石原 美和 <ファシリテーター>

看護師、保健師 厚生省にて感染症対策等に携わる  
平成29年宮城大学看護学研究科教授  
令和3年3月厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部  
本部員  
令和2年4月から現職 保健福祉大学保健福祉学部教授を兼任



神奈川県健康医療局長

## 前田 光哉

厚生労働省の医系技官として、鳥インフルエンザ発生時、  
防疫作業従事者に対する健康管理対策の指揮を執った  
新型インフルエンザ対策、感染症法改正にも関与  
現在、神奈川県健康医療局長として、新型コロナウイルス  
感染症神奈川県対策本部 副本部長を務める



実践教育センター専任教員

## 黒木 利恵

新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部の要請から  
神奈川コロナクラスター対策チーム の一員として活躍  
(C-CAT : Corona Cluster Attack Team)  
感染管理認定看護師  
県立保健福祉大学 実践教育センター 専任教員として、  
感染管理認定看護師養成課程を担当



川崎市健康安全研究所長

## 岡部 信彦

1991年WHO西太平洋地域事務局伝染性疾患予防対策  
課課長に就任。  
2009年の新型インフルエンザ発生時に続き、現在、  
政府 新型コロナウイルス感染症対策分科会 構成員  
東京慈恵会医科大学小児科学講座客員教授  
川崎市健康安全研究所長  
県立保健福祉大学 実践教育センター 感染管理認定  
看護師養成課程において感染症学各論を担当

